

科目名	中国語6a A (新カリ: 3年次用)	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	朱 継征		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-320239	国際学部B: 高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	中国語の文法項目を体系的に説明し、「速問即答」方式の特訓によって、聴解力、会話力、読解力、作文力などの中国語総合運用能力が身につく。その総合的実践能力を高める中で、さらに中国語検定試験3級合格、HSK(漢語水平考査)4級合格できる。授業用の言語はできるだけ多く中国語を使用する。				
学修到達目標	<p>実用的中国語運用のための基礎的語彙、文法項目とコミュニケーションの技能を習得できる。既習した技能を定着させる上で、中国語の「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という実用的運用能力が身につく。特に「受信力」(聴力、読解力)より「発信力」(会話力、作文力)を優先に磨いて向上することができる。中国語の日常用語、文法事項を理解し、習得し、教科書と同レベルの日常会話を速問即答できる。</p> <p>①作文、会話の特訓によって、3,000以上の基本的語彙を活用できる。 ②「速問即答」方式の特訓によって、さらに40以上の基本構文が身につく。 ③教科書と同レベルの日常会話を速問即答、そして作文できる。 ④中国語検定試験3級やHSK4級に合格することができる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	文法と会話1: 「頻度副詞」
第2回	文法と会話2: 「連動文(1)」
第3回	文法と会話3: 「程度副詞」

第4回	文法と会話4：「程度補語」
第5回	文法と会話5：「助動詞＋動詞(1)」
第6回	文法と会話6：「助動詞＋動詞(2)」
第7回	文法と会話7：「将然相」
第8回	文法と会話8：「起動相」
第9回	文法と会話9：「進行相」
第10回	文法と会話10：「完了相」
第11回	文法と会話11：「残存相」
第12回	文法と会話12：「経験相」
第13回	文法と会話13：「“把”構文」

第14回	文法と会話 14 : 「“被”構文」
第15回	文法と会話 15 : 「主動文と受身文」
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。予定の内容を予習して単語を覚え、作文と会話の内容を準備する。
【復習】時間・内容	1時間。授業で学んだ内容を繰り返し練習し、単語、語法、作文の内容などを復習する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数（60%）、毎回の授業での作文と会話（30%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	定期試験の問題点を総括して説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート

教科書/参考書	教科書：未定 参考書：各種の中国語辞書、中日辞典
受講上の留意点等	辞書を持参すること、予習・復習をすること。 聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力すること。日本語の使用を最小限にすること。
JABEE	

科目名	中国語6a B (新カリ: 3年次用)	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	姜 杰裕		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-320239	国際学部B: 高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	今の中国の「衣・食・住・遊」についての豊富な内容を優れた中国語表現で紹介している文章を学ぶ。現代中国の「事情」を知りながら、関連している語彙を増やし、国際的な感覚を養い、より広い範囲で会話ができるようになる。基礎文法に触れながら複文の文法を重点的に学習する。日常会話や簡単な作文だけにとどまらず、物事について論じ、解説などの「書く」力を高め、より高度な表現力を習得し、国際社会で必要な言語能力を身につける。				
学修到達目標	物事に対する自分の意見や説明が流暢尚且つややより高度な中国語で表現できるように、国際社会で必要な中国語コミュニケーション能力を身につける。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	休み課題発表する。第一課の新出単語・文法学習・応用練習
第2回	第1課の本文の解読、練習問題の答え合わせ・会話練習
第3回	第2課の単語確認と文法解説と文法応用練習

第4回	第2課の本文の解読とドリルの答え合わせ・会話練習
第5回	「称呼」と「大学生の恋情」について話し合い・意見発表・作文
第6回	第3課の新出単語・文法学習・文法応用練習
第7回	第3課本文解読・ドリルの答え合わせ・会話練習
第8回	第4課新出単語・文法学習・文法応用練習
第9回	第4課本文解読・練習問題の答え合わせ・会話練習
第10回	題目作文（授業の時指示）発表1 発表内容について質疑応答
第11回	第5課単語確認・文法解説・文法応用練習
第12回	第5課本文解読・ドリルの答え合わせ・会話練習
第13回	第6課新出単語確認・文法解説・文法応用練習

第14回	第6課本文解説・練習問題の答え合わせ・会話練習
第15回	第5課と第6課の内容について意見発表・会話練習
第16回	期末レポート提出（レポート題目は事前に知らせる）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	新出単語を調べ意味が分かるようにする。文法を事前にテキストの解説を見て、問題点をメモしたり、調べたりして予習する。本文の内容を事前に予習して置く。予習時間4時間以上
【復習】時間・内容	新出単語を書ける・言える・応用できるように復習する。習った本文を文法・意味を理解した上に発音が正しく流暢に読めるように練習する。会話練習に積極的に参加し、自分の意見が言えるようにする。復習時間4時間以上。

成績評価	
評価基準・方法	成績は期末試験（40%）、宿題・課題（40%）、授業参加意欲（20%）、を合わせて総合的評価する。
フィードバック方法	課題・宿題については添削してから返却し講評する。試験については試験後に答え合わせし講評する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク/プレゼンテーション

教科書/参考書	「知っている？今の中国～衣食住遊～」 山下輝彦 ・ 路元 著 朝日出版
受講上の留意点等	辞書を持参する。授業の予定内容は事情により調整することがある。授業では極力中国語を使い、予習復習をしっかりとやる。レポートは添付ファイルで提出することと時間厳守すること。目標を立て、学習計画や学習工夫して有効に楽しく中国語を勉強する。CDやインターネットなどを利用して毎日意識的に中国語に触れるようにする。本文の内容を理解したうえで暗唱できるほど熟読する。日常生活の中でできるだけ中国語を使い、中国語を使うチャンスを逃さない。
JABEE	

科目名	中国語6a (旧カリ: 4年次用) (遠隔授業)	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	朱 継征		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-320239	国際学部B: 高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	<p>この授業は中国事情の理解について、知識面の拡大と語彙量の増加に重点を置きながら、引続き聴解力、会話力、読解力、作文力などの訓練に力を入れ、実用的中国語の総合運用能力が身につく。その総合的実践能力を高める中で、さらに中国語検定試験3~2級合格、HSK(漢語水平考試)4~5級合格できる。授業用の言語はできるだけ多く中国語を使用する。</p> <p>担当教員としての私は身体の状況でマスクをしたまま授業すると呼吸困難になる恐れがあるので、お互いの安全のために、今学期15回の授業を全部オンライン授業にします。オンライン授業は、中国語会話や口頭作文練習の能率を上げることができ、積極的な意味もあります。</p>				
学修到達目標	<p>実用的中国語運用のための基礎的語彙、専門用語、文法項目とコミュニケーションの技能を習得できる。既習した技能を定着させる上で、中国語の「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という実用的運用能力が身につく。特に「受信力」(聴力、読解力)より「発信力」(会話力、作文力)を優先に磨いて向上することができる。中国語の日常用語、文法事項を理解し、習得し、教科書と同レベルの日常会話を速問即答できる。</p> <p>①作文、会話の特訓によって、3,500以上の基本的語彙を活用できる。 ②「速問即答」方式の特訓によって、更に50以上の基本構文が身につく。 ③教科書と同レベルの日常会話を速問即答、そして作文できる。 ④中国語検定試験3~2級やHSK4~5級に合格することができる。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	作文と会話1: 「我的家庭」
第2回	作文と会話2: 「自我介绍」
第3回	作文と会話3: 「我的爱好」

第4回	作文と会話4：「家庭問題」
第5回	作文と会話5：「人口問題」
第6回	作文と会話6：「结交朋友」
第7回	作文と会話7：「社会問題」
第8回	作文と会話8：「环境问题」
第9回	作文と会話9：「饮食安全」
第10回	作文と会話10：「资源问题」
第11回	作文と会話11：「贸易问题」
第12回	作文と会話12：「住宅问题」
第13回	作文と会話13：「旅游休闲」

第14回	作文と会話 14 : 「文化生活」
第15回	作文と会話 15 : 「白領階層」
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。予定の内容を予習して単語を覚え、作文と会話の内容を準備する。
【復習】時間・内容	1時間。授業で学んだ内容を繰り返し練習し、単語、語法、作文の内容などを復習する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の点数（60%）、毎回の授業での作文と会話（30%）、授業参加状況（10%）を合わせて総合的に評価する。
フィードバック方法	定期試験の問題点を総括して説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート

教科書/参考書	教科書：『アクティブ中国』胡金定著, 朝日出版社(3年生後期と同じ教書)。 参考書： 各種の中国語辞書、中日辞典
受講上の留意点等	辞書を持参すること、予習・復習をすること。 聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションに取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力すること。日本語の使用を最小限にすること。
JABEE	